



広安里

発行 釜山日本人学校

釜山広域市水営区民楽洞173-8

TEL 051-753-4166

FAX 051-756-4851

<http://user.chollian.net/~pusjpnsc>平成
17年度
第7号

釜山での生活

PTA代議員 露木 律子

昨年七月に釜山へ来て、早一年と三ヶ月が過ぎました。初めて釜山日本人学校へ挨拶に伺った時は「想像していたよりも小さな学校」という印象でした。ですが、廊下で擦れ違った子供達からは「こんにちは」と大きな挨拶があり、何とも清々しく新鮮な気持ちになった事を覚えています。翌週の月曜日から登校する事になりましたが、困ったことがありました。それは、「弁当持参」という事です。料理下手な私には大変な事でしたが、最近では他のお母さん方から情報を得て大分楽になりました。

夏休みが終わると学校の行事が沢山ありました。まずは運動会です。昨年初めて参加した時は驚きの連続でした。子供達の全種目フル出場の頑張り、保護者の方々、先生方、そして日本人会の皆さんが参加する、文字通り全員参加の運動会だったからです。私は日頃の運動不足が祟ってその後に来た筋肉痛は相当なものでした。来年こそはトレーニングを積んで・・・と誓った筈なのですが、実現出来ずに結果は同じでした。

次にPTAが主催するバザーです。昨年は何が何だか分からない内に終わってしまった感じで、バザーで覚えているのは担当したコーナーの事だけでした。今年は代議員として参加することになり、不安の中で準備がスタートしました。しかし、実行委員会での話し合いでは、経験者の方の貴重な意見と、初めて参加される方の斬新な発想に感心し、多いに助けて貰いました。時に、何も出来ない自分に情けない思いで一杯になったこともありましたが、例年こうしてバザーへ関わって来た方の苦勞も察することが出来ました。何より沢山の事を教えて貰い私の勉強の場となりました。当日は多少のハプニングがありましたけれども、今は無事に終わった事に安堵しています。皆さんお疲れ様でした。

この後、創立三十周年記念式典や新年お楽しみ会等いくつかの行事が控えています。楽しみながら参加したいと思っています。

目標「What a glorious time of year!」

PTA会員 佐々木 篤代

今、日本で世界で起こっているたくさんの悲しい出来事がある。中越地震、ニューオーリンズのカトリーナ台風、バリ島のテロ事件、パキスタンの地震・・・数多くの人々が被災・被害を受けた。その中で私は幸いにも釜山で暢気に過ごさせて頂いている。朝起きてまず最初に、キッチンの窓から今日の海の様子を見る。海面を見てみると今日の風向きや強さが判る。

「さあ 今日も一日元気に頑張ろう!」と私自身に話しかけ、子供たちのお弁当作りをする。これは家族皆が健康な時、当たり前のように繰り返していること。

ところが先日、子供が高熱を出し、寝込んでしまった。よく考えてみると、そのときの私は、キッチンの窓から海を見ることを忘れてしまっていた。どんなに美しい青空が広がっていても、それは目に留まらず、すがすがしい風が吹いても、感じ取ることが出来なかった。ぐったりとした子供の姿と同じように、私の心も萎えてしまっていた。

普段の生活の中でも、人は簡単に心も体も崩れてしまう。たった数日間子供が熱を出すだけで心が痛むのに、被害に遭われた方々の心は想像を絶するものだろう。犠牲となられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。そして一日も早く被災地が復興され、心身ともに癒される日がやってくることを心から願っています。

「平穩無事の平々凡々、感謝せずにはいられない。ありがとう! 今日無事でありがとう!」

(清水英雄「平々凡々ありがとう」より)

「大切なものは みんなそばにある。穏やかな毎日が続く贅沢。」

(竹内まりや「すてきなホリディ」より)

私の好きな詩の一節。この詩のように、釜山で過ごした毎日が「What a glorious time of year!」と言えるように、コツコツと頑張りたいと思っています。

ここ釜山で生活していることを神様に感謝!

今まで出逢ってきた皆様に感謝! そして ありがとう!